

一般社団法人 協力隊を育てる会

第 42 回通常総会

2017 年 5 月 24 日（水） 於 東京グリーンパレス



第 42 回 通常総会

・・・・・・・・・・資 料 目 次・・・・・・・・・・

第 42 回通常総会 報告書

2016 年度事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

2017 年度事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30

2017 年度収支予算・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 43

第 42 回通常総会 議案書

第 1 号議案

平成 28 年度決算承認の件・・・・・・・・・・・・・・・・ 45

公益目的支出計画実施報告書・・・・・・・・・・・・・・・・ 51

監事監査報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 52

第 2 号議案

役員に関する件・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 53

報告書目次

2016 年度役員、顧問・参与一覧	P4
2016 年度事業報告	P5
2017 年度事業計画	P30
2017 年度収支予算	P43

注 1：本冊子記載の所属・役職名等は実施当時の表記としています

注 2：青年海外協力隊をはじめとする JICA ボランティアの隊次表記は西暦としています

<2016 年度役員一覧>

1	会長	山本 保博	一般財団法人救急振興財団会長
2	副会長	山本 信也	一般財団法人日本青年館常務理事
3	副会長	水野 秀一	公益社団法人日本青年会議所事務局アドバイザー
4	常任理事	松岡 和久	公益財団法人 CIESF 副理事長
5	常任理事	奥永眞智子	前一般社団法人協力隊を育てる会事務局長
6	理 事	明石 要一	千葉大学名誉教授、千葉敬愛短期大学学長
7	理 事	岩田 公雄	ジャーナリスト、学習院大学特別客員教授
8	理 事	大貫 康雄	公益社団法人自由報道協会代表理事
9	理 事	澤田 澄子	公益社団法人企業メセナ協議会事務局長
10	理 事	重 政子	認定 NPO 法人持続可能な開発のための教育推進会議代表理事
11	理 事	島田 茂	公益財団法人日本 YMCA 同盟総主事・代表理事
12	理 事	杉下 恒夫	一般財団法人国際開発機構理事長
13	理 事	土井 章	日本防災プラットフォーム常務理事兼事務局長
14	理 事	鳥澤 文彦	日本青年団協議会事務局長
15	理 事	山根木晴久	日本労働組合総連合会総合組織局総合局長
16	監 事	白山 肇	大東文化大学非常勤講師、富山県青年海外協力隊を育てる会会長
17	監 事	中村 義人	公認会計士、放送大学客員教授

<2016 年度顧問・参与一覧>

1	顧 問	黒河内 康	元タンザニア、ナイジェリア、スイス大使
2	顧 問	宮崎 幸雄	元公益財団法人ロータリー米山記念奨学会専務理事
3	顧 問	大島 賢三	一般社団法人アフリカ協会理事長
4	顧 問	足立 房夫	公益財団法人国際障害者年記念ナイスハート基金顧問
5	参 与	伊藤 隆文	元独立行政法人国際協力機構青年海外協力隊事務局長
6	参 与	大久保純夫	元一般社団法人協力隊を育てる会事務局長
7	参 与	小川 一成	茨城県青年海外協力隊を育てる会会長、茨城県議会議員
8	参 与	高橋 成雄	NPO 法人地球緑化センター顧問
9	参 与	谷川与志雄	元独立行政法人国際協力機構青年海外協力隊事務局次長
10	参 与	吹浦 忠正	NPO 法人ユーラシア 21 研究所理事長
11	参 与	森高 康行	愛媛県青年海外協力隊を育てる会理事、愛媛県議会議員
12	参 与	横尾賢一郎	公益財団法人ラグビーワールドカップ 2019 組織委員会上席執行役

2016 年度事業報告

(2016 年 4 月 1 日から 2017 年 3 月 31 日まで)

1976 年の設立以来、民間の立場から青年海外協力隊をはじめとする JICA ボランティア事業を支援してきた当会は、設立 40 周年を迎えました。「協力隊は日本の宝、育てて活かす社会をつくる」をスローガンに掲げ全国組織化を達成した前体制を引き継ぎ、昨年度の総会では山本保博が第 5 代会長に就任、50 年という半世紀に向けて次なる一步を踏み出しました。

当会は「協力隊等が得た経験を共有することで、多様な価値観を尊重する平和で豊かな社会を築く」という会の使命を果たす為、執行体制を一新して更なる活動の充実を目指す年と位置づけ、以下の重点事業を軸に諸活動に取り組んで参りましたので、ここにご報告申し上げます。

1. 全国組織との連携

JICA「民間連携ボランティア制度」の理解促進を目的に、三重、和歌山、新潟、北海道にて育てる会ネットワークを活用し企業向けセミナーを開催。各組織に加え、(公社)日本青年会議所を通じて地域の青年会議所メンバーにも企業への広報・参加に尽力いただいた結果、グローバル展開や人材育成に関心ある幾つかの企業が制度活用を検討するまでに至っております。

山形県組織のご協力により始まった「庄内町青少年海外研修事業」は最終年を迎えました。北海道組織のご縁より、マレーシア・コタキナバルでの研修先とプログラムを提供いただいたことが、3 年間にわたる事業成功の秘訣であったとあらためて感じる次第です。

当会 30 周年記念事業として始まった「スタディツアー」も 10 回目となり、愛知県はじめ千葉県、奈良県組織のメンバーがキルギス共和国を訪問。派遣中隊員から要請のあったラグビーグッズを当会役員のネットワークで集め、それらをツアーメンバーが運ぶという、まさに「連携」を具現化するツアーにまで発展しました。

2. 育てる会 40 周年への取り組み

2 月に記念式典を開催、これまでご支援ご協力いただいた方々への感謝の気持ちを表し、46 名 21 法人団体の皆様に感謝状・表彰状を贈呈いたしました。また、JICA 理事長の北岡伸一氏はじめ広島県育てる会会長の上田みどり氏等によるパネルディスカッションも行い、これからの協力隊事業や育てる会活動はどうあるべきか、200 名近くの参加者とともに考える機会になりました。

記念式典と併催された「全国育てる会代表者会議」では、山本会長より新たな活動方針とともに新スローガン「協力隊は日本の宝、育てて活かす平和の種まき」を発表。育てる会活動の次なる取り組みについて意見交換を行い、全国組織として「情報と課題」を共有しつつ、更に連携を強化していくことを確認いたしました。

3. 財政基盤の強化

「内から外へ」を合言葉に始めた他団体との交流は、今や豊かな人的ネットワークとなり、カレンダー販売やファンドレイジングの面で形になりつつあります。また、「視察の旅」等のノウハウを活かして新規事業を受託、厳しい財政状況からの脱却を目指しましたが社団法人の根幹となる会員増強には至らず、一進一退という状況が続いており一層の努力が求められています。

当会は、協力隊経験者や全国の育てる会、そして会員の皆さまから頼りにされ、時代の要請に応えられる組織となるべく活動を進めてまいりますので、会員の皆様におかれましては、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

協力隊を育てる会の使命

青年海外協力隊をはじめとする国際ボランティア（以下「協力隊等」という。）事業に市民の立場から参加しやすい社会環境を創り、次世代を担う人材の創出及び育成を図るとともに、協力隊等が得た経験を共有することで多様な価値観を尊重する平和で豊かな社会を築き、国際社会と地域社会の発展に寄与する。

重点事業

全国組織との連携

育てる会40周年
への取り組み

財政基盤の強化

理解促進事業

開発教育全国集会
の開催

家族交流会・帰国
報告会の開催

各種イベント参加

「協力隊活動現地
視察の旅」の企画

スタディツアーの
企画実施

訓練所視察会の
企画実施

カレンダーの
制作販売

助成事業

小さなハート
プロジェクト

小さなハート
基金

帰国隊員/青年
支援プロジェクト

馬場医療・福祉
奨学金

地域の育てる会
活動助成

広報事業

育てる会ニュース
の編集発行

Web・SNSの
積極的活用

受託事業

「クロスロード」
編集発行業務

帰国隊員支援業務

人材研修業務

総務活動

各種会議の開催

公的資格の
取得・更新

各種交流会の
開催

2016 度事業報告

【重点事業】

1. 全国組織との連携

■全国育てる会と情報・課題の共有を行った。

1) 社団広報媒体の活用

育てる会ニュース、Web ページ、Facebook にて全国育てる会の活動を随時発信

2) ブロック懇談会への参加

(1) 北陸 3 県 JICA 事業を支援する連絡会

日 時 : 8 月 6 日 (土) 13 : 30~17 : 00

場 所 : 福井県教育センター

参 加 : 富山県育てる会、石川県支援する会、福井県支援する会、JICA 北陸、福井県経済国際課、社団育てる会 計 14 名

概 要 : 各団体の活動現況報告、JICA 事業に関する情報共有等

3) 全国育てる会記念行事・総会・イベント等への参加

	組織名	開催名	開催日	出席者
1	京都府 JICA ボランティア応援団	総会・帰国報告会	5 月 10 日 (火)	足立顧問
2	奈良 JICA ボランティア応援団	総会・帰国報告会	5 月 16 日 (月)	伊藤事業部長
3	広島県青年海外協力隊を育てる会	総会・懇親会	5 月 28 日 (土)	足立顧問
4	茨城県青年海外協力隊を育てる会	総会・帰国報告会	5 月 29 日 (日)	松岡常任理事
5	宮城県青年海外協力隊を支援する会	総会・帰国報告会	6 月 4 日 (土)	松岡常任理事
6	千葉県海外協力隊を育てる会	総会・帰国報告会	6 月 6 日 (土)	大石事務局長
7	(一社) 青年海外協力隊プラザ・大阪	総会・帰国報告会	6 月 10 日 (金)	足立顧問
8	三重県協力隊を育てる会	総会・懇親会	6 月 12 日 (日)	伊藤事業部長
9	群馬県青年海外協力隊を育てる会	総会・帰国報告会	6 月 17 日 (金)	松岡常任理事
10	青年海外協力隊神奈川県 OB 会	総会・講演会	6 月 18 日 (土)	奥永常任理事
11	(特活) 山梨県青年海外協力隊を育てる会	総会・壮行会	6 月 21 日 (火)	伊藤事業部長
12	愛知県青年海外協力隊を支援する会	総会・講演会	6 月 25 日 (土)	山本会長 伊藤事業部長

	組織名	開催名	開催日	出席者
13	(公社) 青年海外協力協会	総会	6月25日(土)	佐藤職員
14	わかやま JICA ボランティア応援団	総会・参与会	6月27日(月)	足立顧問
15	島根県青年海外協力隊を育てる会	総会	8月1日(月)	奥永常任理事
16	日本も元気にする青年海外協力隊 OB 会	視察・勉強会	8月20日(土) ～21日(日)	奥永常任理事 滝澤編集長
17	千葉県家族連絡会	家族連絡会	9月3日(土)	奥永常任理事
18	協力隊を支援するやまがた地球家族の会	企業向けセミナー	11月2日(水)	澤田理事、奥永常任理事
19	三重県協力隊を育てる会	企業向けセミナー	11月25日(金)	伊藤事業部長
20	JICA ボランティアを支援するいわての会	故須永宏顧問 の葬儀	12月5日(月)	松岡常任理事
21	わかやま JICA ボランティア応援団	企業向けセミナー	12月6日(火)	奥永常任理事 伊藤事業部長
22	埼玉国際青年を育てる会	3次隊壮行会	12月21日(火)	奥永常任理事
22	JICA ボランティアを支援するいわての会	故須永宏顧問 の告別式	2017年 1月17日(火)	足立顧問
23	愛知県青年海外協力隊を支援する会	開発教育全国集会	2017年 1月28日(土)	伊藤事業部長
24	にいがた青年海外協力隊を育てる会	企業向けセミナー	2017年 2月17日(金)	奥永常任理事 伊藤事業部長
26	北海道青年海外協力隊を育てる会	企業向けセミナー	2017年 2月23日(木)	奥永常任理事 伊藤事業部長
27	石川県青年海外協力隊を支援する会	故大塚忠寿専務理 事の告別式	2017年 3月2日(木)	足立顧問
27	ふじのくに静岡・協力隊を育てる会	教育長との4次隊 壮行昼食会	2017年 3月17日(金)	松岡常任理事 伊藤事業部長
28	ひょうご JICA 海外ボランティア応援団	事務・組織運営等 の意見交換	2017年 3月27日(月)	伊藤事業部長

4) 全国育てる会代表者会議の開催

日 時 : 2017年2月3日(金) 14:00～14:30、4日(土) 9:30～12:00

場 所 : JICA 市ヶ谷、アルカディア市ヶ谷私学会館

議 題 : 「これからの育てる会活動について」

備 考 : 3日(金) には 40 周年記念式典前にプレ会議を開催

講 師 : 山本美香氏 (JICA 青年海外協力隊事務局次長)、山田健氏 (同)

参 加 : 全国 41 組織の会長または代表 計 47 名

社団役職員 計 15 名

■全国育てる会との協働活動を展開した。

1) 現職参加、民間連携ボランティア、帰国後採用等の理解促進セミナーの開催

(1) 三重県

日 時 : 11月25日(金) 13:30~17:00
場 所 : 津市アストプラザ
名 称 : グローバル人材・中小企業海外展開支援セミナー
~ODAを活用した民間企業海外展開支援~
主 催 : JICA、三重県協力隊を育てる会
後 援 : 三重県、津市
参 加 : 13社18名

(2) 和歌山県

日 時 : 12月6日(火) 14:00~16:30
場 所 : ダイワロイネットホテル和歌山
名 称 : グローバル人材セミナーin 和歌山~JICA制度を活用してグローバルに展開~
主 催 : JICA、わかやま JICA ボランティア応援団
参 加 : 27社30名

(3) 新潟県

日 時 : 2017年2月17日(金) 15:00~17:30
場 所 : 長岡震災アーカイブセンターきおくみらい
名 称 : グローバル人材セミナーin 長岡~人材リソースとしての JICA ボランティア~
主 催 : JICA、にいがた青年海外協力隊を育てる会
後 援 : 長岡市、長岡国際ビジネス研究会、長岡商工会議所、(特活)長岡産業活性化
協会 NAZE, (公財)にいがた産業創造機構、ジェトロ新潟
参 加 : 10社11名

(4) 北海道

日 時 : 2017年2月23日(木) 14:00~16:30
場 所 : 札幌国際ビルA会議室
名 称 : グローバル人材セミナーin 札幌~人材リソースとしての JICA ボランティア~
主 催 : JICA、北海道青年海外協力隊を育てる会
協 力 : (一社)北海道中小企業家同友会札幌支部国際ビジネス研究会
参 加 : 27社33名

2) 青年海外協力隊 50 周年記念誌「持続する情熱」等の発行と全国拡販

(1) 50 周年誌の発行

監 修 : 独立行政法人国際協力機構
編集協力 : 一般社団法人協力隊を育てる会

編集発行：株式会社万葉舎

販 売 ：株式会社万葉舎、一般社団法人協力隊を育てる会

①「持続する情熱」ダイジェスト版

仕 様 ：A4 判／180 ページ／フルカラー

発行日 ：2015 年 11 月 17 日

価 格 ：2,160 円（税込／送料別）

発行部数：1 万部

育てる会での販売部数：397 冊 販売目標 1000 冊／残 603 冊

②「持続する情熱」完全保存版

仕 様 ：A4 判／416 ページ／フルカラー

発行日 ：2016 年 7 月 15 日

価 格 ：4,860 円（税込／送料別）

発行部数：4 千部

育てる会での販売部数：355 冊 販売目標 1000 冊／残 645 冊

③「持続する情熱」英語版

仕 様 ：A4 判／128 ページ／フルカラー

発行日 ：2016 年 7 月 30 日

価 格 ：2,700 円（税込／送料別）

発行部数：2 千部

育てる会での販売部数：18 冊 販売目標 50 冊／残 32 冊

(2)「青年海外協力隊の軌跡と展望～世界を翔る日本青年の素顔～」の発行

仕 様 ：新書判

著 者 ：杉下恒夫

編集発行：株式会社万葉舎

発行日 ：2016 年 9 月 10 日

価 格 ：1,296 円（税込／送料別）

発行部数：2 千部

販 売 ：株式会社万葉舎、一般社団法人協力隊を育てる会

育てる会での販売部数：274 冊 販売目標 500 冊／残 226 冊

(3) 全国育てる会への協力依頼と拡販・普及連携

①山本会長名による拡販協力依頼文書をチラシとともに全国育てる会へ発信（7 月 25 日付）

②株式会社くらしの友からのご寄付により東北 3 県 4 組織を通じて教育機関等に寄贈

	組織名	寄付数	寄贈先等
1	JICA ボランティアを支援するいわての会	20 部	県立、市立図書館
2	宮城県青年海外協力隊を支援する会	20 部	JICA エッセイコンテスト入賞者等

	組織名	寄付数	寄贈先等
3	福島県青年海外協力隊を支援する会	10 部	市長、商工会議所等
4	にほんまつ地球市民の会	10 部	市教育委員会、市内中学校

■全国育てる会の諸活動に対して側面支援を行った。

1) 映画「クロスロード」自主上映会の推進支援（上映会企画へのアドバイス等）

①広島県青年海外協力隊を育てる会

日 時 : 8 月 29 日 (月)

場 所 : (公財) ひろしま国際センター

備 考 : 午後と夕方の 2 回上映

②京都府 JICA ボランティア応援団

日 時 : 10 月 4 日 (火)

場 所 : ひと・まち交流館

備 考 : 制作スタッフによるミニ講演会付

③岡山県協力隊を育てる会

日 時 : 10 月 22 日 (土)、29 日 (土)

場 所 : 人と科学の未来館サイピア

備 考 : 2 週にわたり夜間上映

2) 組織運営・活動へのフォロー

(1) 派遣条例・特別採用等制定に向けた事例紹介と資料提供、アドバイス

(2) 教育委員会における特別参加促進に向けた事例紹介と資料提供、アドバイス

(3) 現職参加促進に向けた事例紹介と資料提供、アドバイス

(3) 民間連携ボランティア制度の活用促進に向けた事例紹介と資料提供、アドバイス

(4) 総会開催に係る資料作成および事務手続き等の事例紹介と資料提供、アドバイス

(5) 会員管理をはじめとする事務局運営業務の事例紹介と資料提供、アドバイス

3) メーリングリストによる情報共有

(1) ボランティア派遣現況 (毎月)

(2) その他 (随時)

事 例 : 協力隊 OB の熊本地震支援活動、ボランティア事業に関する懇談会提言、50 周年誌販売、重点ハローワーク情報と活用の案内、派遣隊次表記の変更、ダッカテロ事件、マグサイサイ賞受賞、各県育てる会役員朗報・訃報、派遣国の災害情報、協力隊や帰国隊員の TV や新聞記事等のメディア情報 等

4) 諸活動やイベント情報等の広報

育てる会ニュース、Web ページ、Facebook、クロスロード発送、ML 等にて要望に応じて随時実施

2. 育てる会 40 周年への取り組み

- 会員ならびに支援者に謝意を表するとともに、全国組織としての更なる飛躍をアピールするため、以下のとおり記念式典を開催した。

1) 設立 40 周年記念式典の開催

日 時 : 2017 年 2 月 3 日 (金) 15 : 00 ~ 19 : 00

場 所 : JICA 市ヶ谷ビル (国際会議場)

概 要 : 以下のとおり

第 1 部 = 記念式典 出席者 167 名

来賓 ~ 外務省国際協力局長 山田滝雄

JICA 理事長 北岡伸一

公益財団法人三菱 UFJ 国際財団専務理事 小沢良明

アフラック創業者 大竹美喜

感謝状贈呈 ~ 林千根 (長期個人会員 / 総代として)

第 2 部 = 特別シンポジウム 出席者 167 名

タイトル「これからの青年海外協力隊、育てる会の役割」

パネリスト ~ JICA 理事長 北岡伸一

広島県青年海外協力隊を育てる会会長 上田みどり

一般社団法人協力隊を育てる会会長 山本保博

司会 ~ ジャーナリスト (協力隊を育てる会理事) 岩田公雄

第 3 部 = 記念祝賀会 出席者 157 名

2) 育てる会活動の貢献者ならびに支援者への感謝状授与

表彰状 : 6 団体 (設立 10 年以上の各県組織)、27 名 (各県組織推薦)

感謝状 : 高額寄付者 個人 = 5 名、団体 = 1 団体

長期会員 (30 年以上) 個人 = 14 名 / 法人 = 7 社 / 団体 = 7 団体

日 時 : 感謝状は 2 月 3 日 (金) に 40 周年記念式典会場 (JICA 市ヶ谷) にて贈呈

表彰状は 2 月 4 日 (土) に代表者会議会場 (アルカディア市ヶ谷) にて贈呈

- 50 周年という大きな節目に向けて、育てる会活動の役割を再確認するとともに、活動記録の整理・継承、社会への更なる理解促進を目的に広報宣伝を行った。

1) 育てる会ニュースにおける特別連載

4月号より「40周年記念コラム」を1面に掲載

2) Webでの発信

38 法人団体会員のご芳名・ロゴマーク・Web アドレスを掲載

3. 財政基盤の強化

■「内から外へ」を合言葉に他団体との連携を広げ、会員及び事業拡大に繋げた。

1) 会員状況

	2016 年 3 月末	2017 年 3 月末
個人会員	526 名	519 名
団体会員	108 団体	106 団体
法人会員	35 法人	30 法人
全国育てる会会員数	3,606 名（法人団体含む）	3,452 名（法人団体含む）

2) 日本青年会議所、連合、経営者協会等、経済団体との協働

(1) JICA ボランティア春募集広報

主 催 : 公益社団法人日本青年会議所

日 時 : 4 月中旬

概 要 : 全国青年会議所への募集案内の送付ならびに募集ポスター掲示依頼

(2) 50 周年記念誌およびカレンダー拡販

主 催 : 公益社団法人日本青年会議所

日 時 : 12 月下旬

概 要 : 全国青年会議所への会報誌送付に購入依頼文書を同封

(3) 2017 年度京都会議

主 催 : 公益社団法人日本青年会議所

日 時 : 2017 年 1 月 20 日（金）～22 日（日）

場 所 : 国立京都国際会館

概 要 : 民間連携ボランティア制度理解促進の講演、ブース出展ならびに各種相談受付

(4) 第 87 回メーデー中央大会

主 催 : 連合第 87 回メーデー中央大会実行委員会

日 時 : 4 月 29 日（金祝）

場 所 : 代々木公園

概 要 : 帰国隊員の特産品販売、JICA ボランティア春募集広報、民族衣装着付け

3) ライオンズクラブ、ロータリークラブ等、NPO/NGO 団体との協働

(1) 地域催事への参加

主 催 : 文京区小石川・表町町会
日 時 : 9 月 10 日 (土) ~11 日 (日)
場 所 : 傳通院参道
概 要 : サモサ (バングラデシュ料理)、ブリック (チュニジア料理) の販売

(2) 教育関係催事への参加

主 催 : 礪川おやじの会
日 時 : 8 月 27 日 (土) 14 : 30~16 : 30
場 所 : 文京区礪川小学校
概 要 : アジアンカレー作りと協力隊参加経験発表会

(3) 定例会等での講演

主 催 : 日本橋ライオンズクラブ
日 時 : 7 月 14 日 (木) 12 : 00~13 : 00
場 所 : ロイヤルパークホテル
概 要 : バングラデシュにおける青年海外協力隊の活動とテロ事件についてレクチャー

(4) 定例会等での広報

主 催 : 都内ライオンズクラブ
日 時 : 毎月 1 回程度
場 所 : 東京都内
概 要 : 小さなハートプロジェクト支援要請、50 周年誌・カレンダー等の広報

4) 「持続可能な開発目標 (SDGs)」、「地域創生」に取り組む民間企業等との協働

(1) 「持続可能な開発目標 (SDGs)」

カレンダー販売を通じて実施

(2) 「地域創生」

①「日本も元気にする青年海外協力隊－地域づくりの現場訪問～徳島県吉野川市編」

日 時 : 8 月 20 日 (土) ~21 日 (日)
場 所 : 徳島県吉野川市
主 催 : 日本も元気にする青年海外協力隊 OB 会、徳島県協力隊を育てる会ほか
概 要 : 地域医療と福祉、農業、地域交流に携わる協力隊 OB の活動視察と意見交換会
参 加 : 井上俊吾会長 (徳島県協力隊を育てる会)、奥永常任理事、滝澤編集長

②「まちてん 地方創生まちづくりフォーラム～青年海外協力隊 OBOG の社会起業への挑戦」

日 時 : 12 月 10 日 (土) 15 : 00~16 : 30
場 所 : 渋谷ヒカリエ
主 催 : まちてん 2016 実行委員会

概 要 : 社会起業を实践している隊員 OBOG によるシンポジウム

参 加 : 奥永常任理事、伊藤事業部長、熊野職員

③「第 1 回青年海外協力隊 OB・OG 帰国後活動報告会」

日 時 : 12 月 10 日 (土) 18:00~20:00

場 所 : 神宮前穂田区民会館

主 催 : JICA 青年海外協力隊事務局

概 要 : 社会起業を实践している隊員 OBOG による帰国後活動報告会、分科会

参 加 : 奥永常任理事、滝澤編集長、伊藤事業部長、熊野職員

④「日本も元気にする青年海外協力隊－地域づくりの現場訪問～三重県尾鷲市編」

日 時 : 2017 年 3 月 4 日 (土) ~5 日 (日)

場 所 : 三重県尾鷲市

主 催 : 日本も元気にする青年海外協力隊 OB 会

概 要 : 地域活性化や地域おこし協力隊に携わる協力隊 OB の活動視察と意見交換

参 加 : 高井邦彦会長 (三重県協力隊を育てる会)

5) スポーツ・フォー・トゥモロー・コンソーシアム等、スポーツ関連団体との協働

Facebook や ML 等を通じた情報発信を実施

■サポート事業 (就活・婚活・終活) を通じて会員及び事業拡大に繋げた。

1) 帰国隊員に対するカウンセリング

求人数 : ODA 関連商社、経済団体、福祉施設、青少年団体等より 19 件

カウンセリング数 : 7 件

2) 帰国隊員の婚活支援

(1) 「ボウリングパーティー～風薫る 5 月の『春』を狙う～」

日 時 : 5 月 14 日 (土) 15:00~17:30

場 所 : グランドボウル高田馬場

参 加 : 男 14 名 / 女 12 名 計 26 名

(2) 「乾杯 in 森のビアガーデン」

日 時 : 8 月 27 日 (土)

場 所 : 神宮外苑

参 加 : 男女各 8 名 計 16 名

3) 福利厚生サービスの普及

サポート会員 : 74 名 (個人 52 名、団体 2 社 22 名)

サービス付与 : 519 名 (社団個人会員)

■ 帰国隊員が関わる事業を通じて会員及び事業拡大に繋げた。

1) カタログギフト「GLOBAL SPROUT」の販売

スプラウトコース（3,500 円）：285 件

リーフコース（5,000 円）：117 件 合計＝402 件

2) 帰国隊員が関わる事業の発掘および紹介

Web でのショップ等情報掲載：71 件

■ JICA をはじめ他省庁、自治体などの事業受託を通じて事業拡大に繋げた。

1) 新規受託

(1) 「2016-2017 年度国際協力レポーター運営事務局業務」

発 注 ：独立行政法人国際協力機構

契 約 ：2016 年 4 月から 2018 年 3 月末までの 2 年間（25,892,348 円）

業 務 ：ODA の理解促進を目的とした学生・社会人の参加型モニター事業の事務局運営

実 施 ：セネガル

参 加 ：一般公募による 12 名（「グローバル教育コンクール 2015」JICA 理事長賞受賞者含む）

概 要 ：①事前研修：9 月 17 日（土）～18 日（日） 於 JICA 東京

 ②現地派遣：10 月 22 日（日）～30 日（日） 於 セネガル

 ③事後研修：11 月 25 日（土） 於 JICA 地球ひろば

状 況 ：特に問題なく現地視察を修了、事後研修を経て海外派遣報告書を作成

【理解促進事業】

1) 開発教育全国集会の開催

協力隊事業を通じた国際理解と人材育成、ならびに協力隊経験の社会還元を広く市民に周知する場として、全国育てる会とともに開催した。

日 時 ：2017 年 1 月 29 日（日）15：00～18：00

場 所 ：なごや地球ひろば

主 催 ：愛知県青年海外協力隊を支援する会、（一社）協力隊を育てる会

後 援 ：外務省、JICA 中部、JOCA 中部、（公財）愛知県国際交流協会、（一社）中部経済連合会、（一社）アフリカ協会、AMA AFRICA

名 称 ：アフリカ開発と人間の安全保障を考える～日本のアフリカ支援と青年海外協力隊の取り組み

概 要 ：第 1 部～大津司郎氏（ジャーナリスト／協力隊 OB）による基調講演

第2部～アフリカ活動経験を有する協力隊 OBOG らによるシンポジウム
パネリスト＝大津司郎（1975-1／タンザニア／野菜）

石田純哉（2006-2／ガーナ／村落開発普及員）

松田明子（2005-1／マダガスカル／婦人子供服）

司会進行＝武藤一郎（愛知県支援する会副会長、1969-3／タンザニア／
畜産物加工）

参 加 : 50 名

2) 家族交流会・帰国報告会の開催

協力隊事業の理解普及を目的に、協力隊家族をはじめ将来協力隊参加を志す学生、また社会貢献団体等を対象に帰国隊員の活動報告会を機会あるごとに企画・実施した。

(1) 家族交流会

対 象 : 協力隊家族ならびに協力隊参加希望者

日 時 : 6 月 14 日（火）18 : 30～20 : 30

場 所 : JICA 地球ひろば

概 要 : 「視察の旅」事業の概要説明、参加者による講演、海外渡航の各種相談等

参 加 : 35 名

(2) 帰国報告会

日 時 : 11 月 10 日（木）18 : 00～20:30

場 所 : 椿山荘東京

主 催 : 民間外交推進協会（FEC）

名 称 : LFEC 東京研修会夕食懇談会

概 要 : FEC 女性会員向けオピニオンリーダー養成研修における講演

①柳沢香枝氏（駐マラウイ特命全権大使、元 JICA 理事）による基調講演

演題：「日本のアフリカ支援とボランティア事業～民間連携への取り組み
と期待」

②講師：町井恵理（NPO 法人 AfriMedico 代表、協力隊 OG）による特別講演

演題：「世界と日本に貢献するために～青年海外協力隊の経験を活かして」

参 加 : 講師（協力隊 OG 含む）7 名、FEC 女性会員 40 名

①新江梨佳氏（2011-1／マラウイ／理数科教師）

②是永美夏子氏（2003-3／エジプト／青少年活動）

③白井美穂氏（2008-3／ガーナ／エイズ対策）

④東海林美紀氏（2006-3／ニジェール／エイズ対策）

⑤村松真佐美氏（2006-1 ニジェール／村落開発普及員）

⑥町井恵理（2006-0／ニジェール／感染症対策）

3) 各種イベントへの参加

協力隊事業と育てる会活動の理解促進を目的に、各種イベントへ機会あるごとに参加した。

(1) 協力隊まつり 2016

主 催 : 協力隊まつり実行員会
日 時 : 4月23日(土)～24日(日) 10:00～17:00
場 所 : JICA 地球ひろば (JICA 市ヶ谷)
概 要 : 50周年誌、帰国隊員による特産品等の販売

(2) JICA 地球ひろば設立 10 周年記念感謝祭

主 催 : JICA 地球ひろば
日 時 : 5月28日(土) 10:00～16:00
場 所 : JICA 地球ひろば (JICA 市ヶ谷)
概 要 : 50周年誌、帰国隊員による特産品等の販売

(3) グローバルフェスタ 2016

主 催 : グローバルフェスタ実行委員会
日 時 : 10月1日(土)～2日(日) 10:00～17:00
場 所 : お台場シンボルプロムナード公園
概 要 : 50周年誌等の書籍、カレンダー、帰国隊員による特産品等の販売

(4) SEISA Africa・asia Bridge 2016

主 催 : 公益財団法人世界こども財団、学校法人国際学園
SEISA Africa・asia Bridge 2016 実行委員会
日 時 : 11月12日(土)～13日(日) 10:00～16:00
場 所 : 星槎中学高等学校
概 要 : 50周年誌等の書籍、カレンダー、帰国隊員による特産品等の販売

4) 隊員活動の広報

各種団体の広報媒体と帰国隊員を結び、協力隊事業の理解促進を目的としたリポートを発信した。

掲 載 : FEC NEWS (月1回発行)
発 行 : 民間外交推進協会
タイトル: 「協力隊に見る日本の若者の姿」
内 容 : 帰国隊員による現地の活動や生活、参加を通じて得られたこと等の寄稿

5) 「協力隊活動現地視察の旅」の企画・実施

協力隊家族や関係者等を中心に、現地の活動視察を通じて協力隊事業の理解者を増やすとともに、支援の輪を広げることを目的に企画・実施した。

企 画 : アフリカ・中南米・中東・アジア・大洋州の隊員派遣国 計 28 ヶ国

催 行 : 8 ヶ国 51 名

備 考 : キルギスコースは催行人数に満たなかったもののスタディツアーに 2 名便乗

	地域	実施国名	期間	参加者数
1	アジア	ネパール	9 月 27 日 (火) ~ 10 月 6 日 (木)	7 名
2	アフリカ	ウガンダ	8 月 2 日 (火) ~ 8 月 11 日 (木)	4 名
3		モザンビーク	9 月 12 日 (月) ~ 9 月 21 日 (水)	6 名
4		セネガル	10 月 24 日 (月) ~ 11 月 3 日 (木)	4 名
5		マラウイ	10 月 26 日 (水) ~ 11 月 5 日 (土)	5 名
6		ザンビア	11 月 30 日 (水) ~ 12 月 10 日 (土)	15 名
7	中南米	ホンジュラス	11 月 10 日 (木) ~ 11 月 20 日 (日)	6 名
8		ニカラグア	2017 年 2 月 23 日 (木) ~ 3 月 5 日 (日)	4 名

6) スタディツアーの企画・実施

学生や社会人を対象に、現地の活動視察を通じて協力隊事業をはじめ異文化・国際協力の理解者を増やすとともに支援の輪を広げることを目的に企画・実施した。

(1) 育てる会スタディツアー

主 催 : 一般社団法人協力隊を育てる会

日 時 : 8 月 29 日 (月) ~ 9 月 5 日 (月)

場 所 : キルギス共和国

参 加 : 愛知県支援する会役員・会員、千葉県育てる会役員、奈良応援団役員等
計 15 名

備 考 : 中国大使館への爆弾テロの影響や参加者の緊急治療等あるものの無事に終了

(2) 山形県庄内町青少年海外研修事業

主 催 : 山形県庄内町青少年海外研修事業実行委員会

(山形県庄内町、同教育委員会、ロータリークラブ等)

日 時 : 12 月 18 日 (日) ~ 24 日 (土)

対 象 : 山形県庄内町の中高生 17 名、町職員 2 名、育てる会 1 名 計 20 名

場 所 : マレーシア (コタキナバル・クアラルンプール)

概 要 : JICA プロジェクト、協力隊員活動地 (環境教育、日本語教師)、サバ大学等
での視察・ディスカッション

備 考 : ①実行委員会 : 6 月 7 日 (火)

②結団式 : 10 月 7 日 (金)

③事前研修会 : 10 月 11 日 (火)、11 月 10 日 (木)

④壮行会 : 12 月 9 日 (金)

⑤報告会 : 2017 年 1 月 28 日 (土) ※いずれも庄内町にて開催

7) 訓練所視察会の企画・実施および協力

グローバル人材や異文化・国際理解教育等に関心のある企業や教育機関を対象に、JICA 二本松または駒ヶ根訓練所の体験視察会を企画・実施するとともに参加協力を行った。

(1) 学生向け訓練所視察会の実施

主 催 : 日本外国語専門学校
日 時 : 2017 年 1 月 28 日 (土) ~29 日 (日)
場 所 : 二本松訓練所
参 加 : 同校学生 31 名
概 要 : 語学ならびに異文化授業体験、帰国報告会開催、帰国隊員活動視察等

(2) 企業・団体向け訓練所視察会への協力

主 催 : JICA 青年海外協力隊事務局
日 時 : 9 月 1 日 (木) ~2 日 (金)
対 象 : 各企業・団体の管理職等
場 所 : 二本松訓練所
概 要 : 全国育てる会に参加呼びかけを実施
備 考 : 茨城県育てる会の関係企業より 4 名、三重県育てる会の会員 1 名が参加

8) 育てる会カレンダーの制作・販売

派遣中隊員および帰国隊員から提供される写真を使用し、途上国や協力隊事業の理解促進、全国の育てる会活動の広報ツール、企業の SDGs ツールとして制作・販売した。

テーマ : JICA ボランティアと世界を変える 17 の目標 = SDGs
仕 様 : A4 横／フルカラー／14 枚綴り (28P) ／オリジナル名入れ・メッセージ有
制 作 : 13,000 部
販 売 : 10 月 1 日 (土) より
価 格 : 1 部 1,000 円 (税込み) ／会員価格 700 円／3 部以上購入は 1 部 500 円
結 果 : 販売数 11,339 部、広報ならびにドネーション配布数 1,661 部

【助成事業】

1) 小さなハートプロジェクト

協力隊員が本来の業務以外に企画するプロジェクトに対して支援金を募り、活動を支援した。プロジェクト支援によって、途上国の人々の生活向上に寄与するだけでなく、協力隊を通して支援者と途上国の人々との繋がりを強め、国際協力に対する気運を高めた。

支援金額 : 1 件につき上限 300,000 円

募集期間 : 通年

応募件数：12 件

審査選考：随時

支援決定：10 件

支援総額：2,650,222 円

【小さなハートプロジェクト支援一覧】

	氏名（隊次） 職種 派遣国	出身 県名	プロジェクト名	支援額 （円）	支援者名
1	三関理沙（2014-1） コミュニティ開発 ケニア	栃木	オザヤ市における児童保護施設 のドミトリー拡充と緊急対策	263,940	とちぎ応援団、足利 市ボランティア協 会、電力総連
2	安藤はるか（2014-3） 看護師 ジブチ	栃木	町の病院の上水道設備強化プ ロジェクト	265,418	とちぎ応援団、電力 総連
3	高村聖奈（2015-1） コミュニティ開発 エルサルバドル	神奈川	小学校の改修工事 ～より良い 教育環境の整備と地域発展を 目指して～	294,533	駒ヶ根育てる会
4	長根尾和子（2014-2） 青少年活動 マラウイ	石川	女子生徒の就学継続を目指し て！ムワンジェ小学校校舎修 復プロジェクト	299,166	石川県支援する会、 金沢二水高校、電力 総連、他
5	佐橋良子（2014-2） コミュニティ開発 エルサルバドル	愛知	白くて、キレイで、安全な村を 目指す！ゴミ箱設置を機会に 環境保全の意識を高めよう！	299,972	チャリティゴルフ、 船橋市役所募金箱
6	井上由惟子（2015-1） 体育 ブータン	千葉	救え！ブータン崖っぷちの子 供達！プロジェクト	122,888	千葉県育てる会、千 葉県 OV 会、日本橋 ライオンズ
7	伊藤大輝（2014-3） 野菜栽培 ルワンダ	静岡	小学校に雨水タンクを設置～ 子供たちが自由に使える水を ～	218,741	アサヒビール株式 会社、会員小口寄付
8	矢澤国明（2014-4） 行政サービス ネパール	長野	公立アマルシン学校 飲料水 浄化設備整備プロジェクト	300,000	駒ヶ根育てる会
9	島崎琴子（2015-2） コミュニティ開発 ニカラグア	東京	エル・サウセ市の教育の中心 に！カトリック中学校図書館 移設プロジェクト	299,676	ソロプチミスト、チ ャリティゴルフ他
10	甲斐未来（2015-2） コミュニティ開発 ベナン	宮崎	小学校に水道とトイレを！	285,888	足利市社会福祉協 議会およびボラン ティア協会他
支援総額				2,650,222	

2) 東日本大震災「小さなハート基金」

東日本大震災をはじめ国内各地で発生する自然災害への復旧・復興支援活動や、その経験を
もとに地域活性化等に取り組む帰国隊員の活動を支援する制度。今期は実施に至らず。

支援金額：1 件につき上限 300,000 円

募集期間：通年

応募件数：0 件

支援件数：0 件

3) 帰国隊員／青年支援プロジェクト

公益財団法人三菱 UFJ 国際財団の支援を基に、帰国隊員の国際協力活動及び調査研究活動を支援した。

支援金額：1 件につき上限 500,000 円

募集期間：7 月 1 日（火）～8 月 31 日（日）

応募件数：25 件（協力隊活動 8 件／調査研究 17 件）

審査選考：10 月 14 日（金）に選考委員会を開催

審査結果：7 名合格（協力活動 4 名、調査研究 3 名）

支援総額：2,700,000 円

備 考：公益財団法人三菱 UFJ 国際財団の小澤専務理事による過年度受給者の面談を実施中

【帰国隊員／青年支援プロジェクト支援一覧】

	氏名（隊次） 職種 派遣国	プロジェクト名	対象活動	支援額（円）
1	山家友朋（2010-1） 村落開発普及員 モザンビーク	モリンガを通じたモザンビーク村落女性への雇用創出活動	協力活動	409,000
2	吉田美紀（2009-2） 村落開発普及員 セネガル	パレスチナ・ガザに住むシリア難民のためのレストラン開業による自立支援事業	協力活動	418,000
3	青木有紀子（2013-1） 村落開発普及員 カンボジア	カンボジア・スヴァイリエン州における農村部女性の雇用創出及び収入向上プロジェクト	協力活動	500,000
4	吉本治一郎（2010-3） 生態調査 グアテマラ	グアテマラの昆虫をテーマとした児童向けの教材の作成	協力活動	237,000
5	新江梨佳（2011-1） 理数科教師 マラウイ	マラウイ共和国の「学習者中心」型授業の現場実践における課題と可能性	調査研究	418,000
6	猪浦智史（2011-2） 公衆衛生 マラウイ	物質依存症者を親に持つ子供のレジリエンスの特性に関する調査研究	調査研究	300,000
7	笹原千佳（2013-1） 森林経営 ケニア	ケニアにおける持続可能なアグロフォレストリー管理を目的とした導入タケと自生竹の材積表作成	調査研究	418,000
支援総額				2,700,000

4) 馬場医療・福祉奨学金

医療・福祉分野への就学・就職を希望する帰国隊員を対象とし、返済義務を付した奨学金を給付し支援した。

支援金額：1 件につき上限 500,000 円

募集期間：7 月 1 日（火）～8 月 31 日（日）

応募件数：2 件

審査選考：帰国隊員／青年支援プロジェクトの審査選考と併せて実施

審査結果：2 名合格

支援総額：1,000,000 円

【馬場医療・福祉奨学金給付者一覧】

	氏名（隊次） 職種 派遣国	修学先名	支援額（円）
1	小野優暢（2012-2） 理学療法士 ベトナム	長崎大学大学院 熱帯医学・グローバルヘルス研究科 国際健康開発コース	500,000
2	美藤ゆかり（2012-2） 助産師 ラオス	名古屋市立大学大学院 看護学研究科 国際保健看護学	500,000
支援総額			1,000,000

5) 「高木守道と小さなハートチャリティゴルフ大会」の共催

協力隊事業と当会活動の理解促進を図るとともに、ゴルフおよびオークションによる収益を「小さなハートプロジェクト」「小さなハート基金」等に活用することを目的に、チャリティゴルフ大会を共催した。

共 催：ぎふ美濃ゴルフ倶楽部、全日本自動車産業労働組合総連合会愛知地方協議会、
（一社）協力隊を育てる会

日 時：11 月 2 日（火）

場 所：ぎふ美濃ゴルフ倶楽部

寄 付：224,763 円

参 加：足立顧問、清水職員

6) その他の隊員支援

(1) フィリピン奨学金

フィリピン派遣中隊員有志による地元学生向け奨学金の増資要請について、各県組織への紹介文書発信および育てる会ニュース 8 月号に支援依頼の寄稿掲載をする等、広報支援を行った。

(2) キルギス・ラグビーボール支援

キルギス派遣隊員からの支援依頼を受け、当会スタディツアーの実施と併せてラグビーボール等を現地に輸送、JICA キルギス事務所にて贈呈した。

要 請 : 久留米陽平 (2016-1/ラグビー/キルギス国立スポーツアカデミー配属)

内 容 : ラグビーボール (中古) ×15 個、カラーコーンマーカー (新品) 10 枚×5 セット、空気入れピン 3 本

寄 贈 : 有限会社エムアンドワイ企画サービス「REUSE PROJECT」
有限会社エムアンドワイ企画サービス代表取締役 小澤響平氏

協 力 : 公益財団法人ラグビーワールドカップ 2019 組織委員会レガシーコーディネーター 西機真氏

公益財団法人ラグビーワールドカップ 2019 組織委員会 上席執行役
横尾賢一郎氏

輸 送 : キルギス・スタディツアー参加者一同

7) 地域の育てる会活動助成

地域の育てる会が実施する協力隊事業の理解促進をはじめとする諸活動に対し、助成金を給付した。

支援対象 : 44 組織

支援金額 : 3,491,976 円

給付時期 : 2017 年 4 月初旬

対象事業 : 以下の 3 事業

- ①協力隊に参加し易く、その経験を地域に活かす社会環境整備活動
- ②協力隊事業の理解促進のための広報啓発活動 (カレンダー等販売含む)
- ③「協力隊の応援団」を地域で増やす支援者拡充活動

【広報事業】

1) 「協力隊を育てる会ニュース」の発行

全国育てる会と会員、派遣中の協力隊員、帰国隊員、法人団体等の支援者とを結ぶ「情報ツール」として、育てる会活動や帰国隊員の取り組み、協力隊事業の動向等を紹介した。40 周年を機に、より見やすく新たなイメージを打ち出すため、今年度より横書き紙面とした。

発行数 : 約 7,000 部/毎月

仕 様 : モノクロ/タブロイド版/4 ページ

構 成 : 1 面～最新トピックス、「育てる会を支えた人たち」(40 周年記念連載)
2 面～全国育てる会や地域の支援者の活動紹介 (国際協力時評)

3 面～派遣中隊員、帰国隊員向けの支援情報

4 面～各種インフォメーション

【主要記事一覧】

月号	記念コラム	主な記事
4 月	協力隊を育てる会記念コラム① 祐成善次（社団元参与）	「持続する情熱」完全保存版いよいよ完成 京都応援団セミナー開催
5 月	協力隊を育てる会記念コラム② 祐成善次（社団元参与）	2016 年度「視察の旅」概要 小さなハートプロジェクト特集
6 月	協力隊を育てる会記念コラム③ 祐成善次（社団元参与）	足立前会長退任、山本会長就任 第 41 回通常総会報告、チャンドラ二氏の講演要旨
7 月	協力隊を育てる会記念コラム④ 祐成善次（社団元参与）	「持続する情熱」完全保存版、待望の発刊 帰国隊員／青年支援プロジェクト公募開始
8 月	協力隊を育てる会記念コラム⑤ 高橋成雄（社団参与）	青年海外協力隊マグサイサイ賞受賞 足立前会長、外務大臣表彰受賞
9 月	協力隊を育てる会記念コラム⑥ 高橋成雄（社団参与）	青年海外協力隊マグサイサイ賞受賞 地域づくりの現場訪問 in 徳島
10 月	協力隊を育てる会記念コラム⑦ 高橋成雄（社団参与）	キルギス・スタディツアー報告 カレンダー販売開始
11 月	協力隊を育てる会記念コラム⑧ 高橋成雄（社団参与）	第 12 回 JICA 理事長表彰 帰国隊員／青年支援プロジェクト等発表
12 月	協力隊を育てる会記念コラム⑨ 宮崎幸雄（社団顧問）	企業セミナー開催、国際協カレポーター報告 各県関係者訃報、視察の旅参加者報告
1 月	協力隊を育てる会記念コラム⑩ 宮崎幸雄（社団顧問）	山本会長年頭挨拶 帰国隊員／青年支援プロジェクト特集
2 月	協力隊を育てる会記念コラム⑪ 宮崎幸雄（社団顧問）	育てる会 40 周年記念式典 開発教育全国集会 in 愛知、愛媛県視察の旅
3 月	協力隊を育てる会記念コラム⑫ 宮崎幸雄（社団顧問）	育てる会 40 周年記念シンポジウム 全国代表者会議、企業向けセミナー

2) Web や SNS による情報提供

育てる会活動を広く周知するため、Web や SNS を活用した広報を実施した。

(1) Web による情報発信

- ①全国育てる会活動の最新トピックスや各種イベント情報（告知および報告等）の提供
- ②帰国隊員が関わる事業やその商品情報の提供
- ③各種支援情報の提供

(2) メーリングリストを活用した派遣中隊員及び帰国隊員の情報収集

- ①カレンダー写真の募集
- ②帰国報告会の講師、「視察の旅」引率者の募集
- ③人材紹介事業の登録者募集
- ④各県組織からの情報提供
- ⑤会員団体からの情報提供

【受託事業】

1) JICA 受託事業

当会の独自性と長年培ってきたノウハウを活かし、効率的かつ効果的に業務を遂行した。

(1) 「クロスロード」誌編集・発行業務

発 注 : 独立行政法人国際協力機構

業 務 : ボランティア向け実践ガイドの編集、発行（年 15 号／増刊 3 号含む）

契 約 : 2015 年～2017 年（3 年間）

(2) 「JICA ボランティア帰国情報／事務管理・現職参加促進支援」業務

発 注 : 独立行政法人国際協力機構

業 務 : 各種証明書発行等の事務手続き、現職参加促進に向けた啓発・調査、相談

契約 : 2015 年～2017 年（3 年間）

【総務活動】

1) 各種会議の運営

一般社団法人としての確な組織運営ならびに事業活動を推進することを目的に、各種会議等を開催した。

(1) 第 41 回通常総会

開 催 : 5 月 26 日（木）14 : 00～19 : 30

場 所 : TKP 市ヶ谷カンファレンスセンター

参 加 : 第 1 部／90 名、第 2 部／108 名、第 3 部／102 名

【プログラム】

第 1 部 通常総会 （14 : 00～15 : 50）

第 2 部 特別講演会（16 : 30～17 : 50）

講師：ジャグモハン・S・チャンドラニ氏（実業家・江戸川インド人会会長）

演題：隣人を助けるボランティアの精神

～インドのゴッドファーザーに学ぶ、人との関わり方～

第3部 交流会 (18:00~19:30)

(2) 理事会

回	日時	場所	議題
第1回	5月11日(水) 17:00~19:00	JICA 市ヶ谷大会議室	第40回通常総会
第2回	5月26日(木) 15:50~16:20	TKP 市ヶ谷	代表理事等の選出
特別	7月20日(水) 17:00~19:00	スクワール麹町	新役員による懇談会
第3回	12月8日(木) 17:00~19:00	日本 YMCA 同盟会議室	四半期報告と次期計画
第4回	2017年1月18日(水) 17:00~19:00	日本青年館会議室	40周年、活動方針
第5回	2017年3月21日(火) 15:00~17:00	日本青年館会議室	2017年度活動計画

(3) 常任理事会

回	日時	場所	議題
第1回	4月11日(月) 17:00~19:00	JICA 市ヶ谷	定例報告、執行部体制等
第2回	5月11日(水) 15:00~17:00	JICA 市ヶ谷	定例報告、理事会、総会
第3回	7月14日(木) 14:30~16:30	日本青年館会議室	定例報告、祝賀会
第4回	9月20日(火) 15:00~17:00	JICA 市ヶ谷	定例報告、40周年
第5回	11月11日(金) 13:00~15:00	育てる会事務局	定例報告、40周年
第6回	12月8日(木) 15:00~17:00	日本 YMCA 同盟会議室	40周年、理事会等
第7回	2017年3月3日(金) 15:00~17:00	日本青年館会議室	次年度活動計画

(4) 顧問・参与会議

回	日時	場所	議題
第1回	9月20日(火) 17:00~19:00	JICA 市ヶ谷	上半期活動、40周年式典

2) 公的資格の継続取得

- (1) 一般競争入札(指名競争)参加資格(3年間継続許可)の更新
- (2) 有料職業紹介事業(5年間継続許可)の更新
- (3) 一般労働者派遣事業(5年間継続許可)の更新

3) その他

- (1) 「山岸章さん お別れ会」への参加

日 時 : 7月19日(火) 12:00~13:00

場 所 : 帝国ホテル本館

参 加 : 足立顧問、大石事務局長

- (2) 「平成28年度外務大臣表彰式」への参加

日 時 : 7月20日(水) 11:00~13:00

場 所 : 飯倉公館

参 加 : 足立顧問、大石事務局長

(3) 「ダッカ都市交通整備事業準備調査 合同追悼式」への参加

日 時 : 8月2日(火) 14:00~15:30

場 所 : 東京都青山葬儀所

参 加 : 松岡常任理事

(4) 「足立前会長の外務大臣表彰受賞を祝う会」の開催

日 時 : 9月6日(火) 18:30~20:30

場 所 : 上野精養軒

参 加 : 88名

(5) 「2016年度広尾慰霊碑への献花式」への参加

日 時 : 10月13日(木) 13:15~14:15

場 所 : 旧 JICA 広尾センター

参 加 : 育てる会役職員 9名が出席

(6) 「2016年度 JICA 慰霊式」への参加

日 時 : 10月13日(木) 15:30~16:30

場 所 : JICA 市ヶ谷ビル

参 加 : 育てる会役職員 9名が出席

(7) 「2016年度 JICA 理事長表彰をお祝いする会」の開催

日 時 : 10月13日(木) 18:30~

場 所 : JICA 市ヶ谷ビル

参 加 : 47名

(8) 「ラモン・マグサイサイ受賞報告・感謝の集い」への参加

日 時 : 10月31日(月) 17:00~18:10

場 所 : JICA 市ヶ谷ビル

参 加 : 育てる会役職員 18名

(9) 「連合 2017 新年交歓会」への参加

日 時 : 2017年1月5日(木) 16:00~17:30

場 所 : ホテルラングウッド

参 加 : 足立顧問、大石事務局長

4) 派遣隊員へのガイダンス

訓練中の協力隊員をはじめとする JICA ボランティアに対し、育てる会活動のガイダンスを行うとともに個人情報の提供を依頼した。

隊次	訓練所	実施日	担当者
2016 年度 1 次隊	駒ヶ根	4 月 14 日 (木)	藤澤職員
	二本松	4 月 22 日 (金)	藤澤職員

隊次	訓練所	実施日	担当者
2016 年度 2 次隊	二本松	7 月 22 日 (金)	奥永常任理事
	駒ヶ根	7 月 29 日 (金)	清水職員
2016 年度 3 次隊	二本松	10 月 24 日 (月)	奥永常任理事
	駒ヶ根	11 月 2 日 (水)	藤澤職員
2016 年度 4 次隊	二本松	2017 年 1 月 16 日(月)	奥永常任理事
	駒ヶ根	2017 年 1 月 25 日 (水)	佐藤職員

5) 帰国隊員へのオリエンテーション

帰国した協力隊員をはじめとするボランティアに対し、育てる会活動のオリエンテーションを行うとともにメールアドレス等の提供を依頼した。

隊次	実施日	担当者
2014 年度 1 次隊	6 月 27 日 (月) ～7 月 14 日 (木)	内島・藤澤・清水職員
2014 年度 2 次隊	9 月 29 日 (木) ～10 月 7 日 (金)	内島・藤澤・清水職員
2014 年度 3 次隊	2017 年 1 月 5 日 (木) ～16 日 (月)	内島・藤澤・清水職員
2014 年度 4 次隊	2017 年 3 月 21 日 (火) ～30 日 (木)	藤澤・内島・熊野・大石・奥永

6) 人事

(1) 新規採用

熊野 寛子 (5 月 1 日付 事務局)

横山 直子 (7 月 1 日付 クロスロード編集室)

(2) 休職

富岡加奈子 (8 月 17 日付 事務局)

(3) 退職

佐藤奈保子 (9 月 30 日付 事務局)

佐藤 桃子 (2017 年 2 月 28 日付 事務局)

以上

【2016 年度事業報告附属明細書について】

2016 年度事業報告における、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項」に規定する附属明細書「事業内容を補足する重要な事項」については、前述の事業報告内に含まれているため別途作成はいたしません。

2017年度事業計画

(2017年4月1日から2018年3月31日まで)

一般社団法人協力隊を育てる会は1976年4月に設立、以来40周年を迎えました。我々はこの節目の年を機に、50周年に向けて以下のとおり取り組んでまいります。

また、地域の特性や実情を共有し、全国の育てる会組織の皆様とともに国民運動として育てる会の活動を展開してまいります。

【スローガン】

「協力隊は日本の宝、育てて活かす平和の種まき」

【基本方針】

1. 青年海外協力隊等のJICAボランティア（以下、青年海外協力隊等）活動への支援を通じて、世界から信頼される日本と平和で豊かな社会を実現する人材を育成してまいります。
2. 青年海外協力隊等に参加しやすい社会環境を目指して、全国の育てる会組織の皆様と共に活動してまいります。
3. 青年海外協力隊等の活動を通じて得た彼等の経験が日本の地域社会の活性化に生かされるよう、OB/OGと自治体、経済団体、市民団体等との橋渡しとなる役割を果たします。

【重点活動】

1. 一般社団法人協力隊を育てる会の主旨への賛同を積極的に呼びかけ、会員数を拡大します。
2. 次世代を担う人材の育成に教員が果たす役割を重視し、一人でも多くの教員が青年海外協力隊等に参加できるよう環境を整えとともに、帰国後の彼等の活動を支援します。
3. 地域で活動するOB/OGの情報を蓄積し、互いに共有できるネットワークを構築します。また、全国の育てる会組織との連携を強化し、地方創生の支援活動を行います。
4. 小さなハートプロジェクトや視察の旅等の事業の他、就職、結婚支援などのサポート体制を整え、隊員の活動の中身の充実を図ります。
5. 収益事業を強化し、財政基盤の強化を目指します。

協力隊を育てる会の使命

青年海外協力隊をはじめとする国際ボランティア（以下「協力隊等」という。）事業に市民の立場から参加しやすい社会環境を創り、次世代を担う人材の創出及び育成を図るとともに、協力隊等が得た経験を共有することで多様な価値観を尊重する平和で豊かな社会を築き、国際社会と地域社会の発展に寄与する。

重点活動

会員の拡大

教員の
協力隊参加支援

OBOGと各県組
織との連携強化

協力隊支援の
充実化

財政基盤の強化

理解促進事業

帰国報告会等の
開催

「協力隊活動視察
の旅」の企画

「持続する情熱」
等の書籍販売

カレンダーの
制作・販売

カタログギフトの
販売

帰国隊員の
進路支援

各種イベント参加

助成事業

小さなハート
プロジェクト

小さなハート
基金

帰国隊員/青年
支援プロジェクト

馬場医療・福祉
奨学金

地域の育てる会
活動助成

広報事業

育てる会ニュー
スの編集発行

web・SNSによ
る情報発信

受託事業

「クロスロー
ド」編集発行業
務

帰国後事務手続
き・現職参加促
進業務

国際協力レポー
ター業務

総務活動

各種会議・交流会
等の開催

公的資格の取得

事務局移転準備

派遣隊員向け
ガイダンス等

2017年度事業計画

【重点事業】

1. 会員の拡大

■新たな繋がりを積極的に作るとともに育てる会活動の認知度を高め、会員拡大に繋げる。

1) 隊員家族へのアピール強化と育てる会活動への参画呼びかけ

(1) 帰国報告会の開催

名 称 : 「日本と世界のかけ橋になる」

日 時 : 5月24日(水) 16:50~18:10

場 所 : 東京グリーンパレス

概 要 : 以下の2名による講演会

備 考 : 通常総会の講演会として開催

① 「病院で外国人の不安を無くすために」

講師: 新垣智子氏

(2001-8/メキシコ/看護師、地方独立行政法人りんくう総合医療センター外来副看護師長)

② 「JOCVにもらった翼」

講師: ジギャン・クマル・タパ氏

(公益財団法人かながわ国際交流財団職員、ネパール政府公式通訳者)

(2) 会員・家族交流会の開催

名 称 : 「楽しく知る。ファンになる。JICA ボランティア FUN FAN 交流会」

日 時 : 5月14日(日) 10:30~12:30

場 所 : JICA 地球ひろば

概 要 : ボランティア事業説明、隊員活動動画の上映、帰国隊員報告、交流会

(3) 関連イベント等の各種情報提供

日 時 : 毎月

概 要 : メールマガジンの発信

2) 「内から外へ」役員ネットワークを通じた企業・団体訪問や異業種との積極的交流

(1) 役員との企業・団体訪問

(2) 異業種交流への積極的参加

3) アピールツールの改善と広報力強化

(1) アピールポイントの整理

(2) 広報媒体の改訂

2. 教員の協力隊参加ならびに帰国後活動への支援

- 全国育てる会と連携し、教員の協力隊参加を促進させるとともに参加希望者やOBOGのニーズや課題を把握し、貴重な経験を活かせるような仕組みづくりや支援策を検討していく。

- 1) 育てる会やOB会等による関連行事への参加と情報収集
- 2) 帰国隊員や教育分野の関係者、有識者との意見交換と情報・課題の共有
- 3) 各教育委員会、関係団体に対する参加促進等の協力要請

3. 地方創生に向けた帰国隊員ネットワークと全国育てる会との連携強化

- 地域で活躍する帰国隊員と全国育てる会のネットワークを繋げ、育てる会ならではの地方創生モデルの構築を目指す。

- 1) 「日本も元気にする青年海外協力隊OB会」や育てる会等による関連行事等への参加と情報収集
- 2) 帰国隊員ネットワークと全国育てる会との意見交換と情報・課題の共有
- 3) クロスロード編集室による調査・研究活動への協力

4. 育てる会による協力隊支援の充実化

- 全国育てる会と連携し、各地域の特性を活かしながら各事業や諸活動の充実化を図るとともに、育てる会ならではの支援活動を展開していく。

- 1) 全国育てる会の意見交換と情報・課題の共有を目的としたブロック懇談会の開催支援

時 期 : 通年

場 所 : 日本全国4ブロック程度

実 施 : 各地域の幹事県主導による開催

- 2) 民間連携ボランティア制度や帰国隊員採用等の理解促進セミナーの開催

時 期 : 通年

場 所 : 日本全国2～4地域程度

- 3) その他、全国育てる会活動の協働ならびに実施支援

- (1) 「視察の旅」参加促進
- (2) 小さなハートプロジェクト等、各種支援事業の強化
- (3) 協力隊募集時期における応募勧奨
- (4) ブロック内、ブロック間での活動連携拡大
- (5) 諸活動や組織運営の活性化

5. 財政基盤の強化

■ 育てる会活動を安定的に実施するため、継続性のある収益の確保と財源の調達を目指す。

- 1) 役員ネットワークを活かしたファンドレイジングと支援者の発掘
- 2) 育てる会の専門性と独自性を活かせる業務の受託

【理解促進事業】

1) 帰国隊員報告会等の開催

国際理解や人材育成、経験の社会還元等、協力隊事業を広く市民に周知する場として、帰国隊員の活動報告会等を機会あるごとに企画、開催する。

(1) 会員・家族交流会

対 象 : 会員、隊員家族ならびに協力隊参加希望者等

開 催 : 年1～2回

① 「楽しく知る。ファンになる。JICA ボランティア FUN FAN 交流会」

日 時 : 5月14日(日) 10:30～12:30

場 所 : JICA 地球ひろば

概 要 : ボランティア事業説明、隊員活動動画の上映、帰国隊員報告、交流会

(2) 帰国報告会

対 象 : 会員、隊員家族ならびに協力隊参加希望者、社会貢献団体、企業団体関係者等

開 催 : 年数回(総会の他、適宜)

① 「日本と世界のかけ橋になる」

日 時 : 5月24日(水) 16:50～18:10

場 所 : 東京グリーンパレス

概 要 : 以下の2名による講演会

備 考 : 通常総会の講演会として開催

①「病院で外国人の不安を無くすために」

講師：新垣智子氏

(2001-8/メキシコ/看護師、地方独立行政法人りんくう総合医療センター外来副看護師長)

②「JOCVにもらった翼」

講師：ジギャン・クマル・タパ氏

(公益財団法人かながわ国際交流財団職員、ネパール政府公式通訳者)

(3) 開発教育全国集会

対 象：一般、社会貢献団体、企業団体関係者等

開 催：年1回

備 考：全国育てる会の主催事業に対し広報等にて協力

2) 「協力隊活動現地視察の旅」の企画・実施

隊員家族や関係者等を中心に、現地の活動視察を通じて協力隊事業の理解者を増やすとともに、支援の輪を広げる機会として企画・実施する。

企 画：アフリカ・中南米等、実施可能な隊員派遣国（20ヶ国程度）

実 施：5月以降

3) スタディツアーの企画・実施協力

一般市民を対象に、現地の活動視察を通じて協力隊事業の理解者を増やすとともに支援の輪を広げる機会として企画・実施の協力を行う。

(1) (一社) 協力隊を育てる会主催スタディツアーの企画

対 象：全国の支援者、一般の参加希望者

実 施：2018年度

場 所：アフリカ地域

(2) 全国育てる会主催スタディツアーの実施支援

対 象：全国の支援者、一般の参加希望者

実 施：通年

概 要：広報協力等

(3) 協力隊訓練所・JICA施設等訪問ツアーの実施支援

対 象：一般の参加希望者、学生等

実 施：随時

4) 「持続する情熱」等、協力隊関連書籍の拡販

役員ならびに全国育てる会のネットワークを通じて、青年海外海外協力隊発足 50 周年記念に当会が編集協力した書籍を協力隊事業の広報ツールとして販売するとともに、支援者を発掘し教育機関や図書館等への寄贈活動を展開する。

(1) 「持続する情熱」(ダイジェスト版)

体 裁 : A4 判/180 ページ/フルカラー

価 格 : 2,160 円 (税込/送料別)

(2) 「持続する情熱」(完全保存版)

体 裁 : A4 判/416 ページ/フルカラー

価 格 : 4,860 円 (税込/送料別)

(3) 「青年海外協力隊の軌跡と展望～世界を翔る日本青年の素顔～」

体 裁 : 新書判/232 ページ/モノクロ

価 格 : 1,296 円 (税込/送料別)

5) 育てる会カレンダーの制作・販売

派遣中隊員及び帰国隊員から提供される写真を使用し、途上国や協力隊事業の理解促進、全国の育てる会活動の広報ツール、企業の SDGs ツールとして制作・販売する。

テーマ : 「宝物」(SDGs17 の目標からテーマ抽出)

仕 様 : A4 横/フルカラー/14 枚綴り (28P) /オリジナル名入れ・メッセージ印字

制作数 : 11,000 部

制 作 : 5 月～8 月

販 売 : 9 月中旬 (予定)

6) カタログギフト「GLOBAL SPROUT」の販売

OBOG が関わる商品の情報をまとめ、Web 等の広報媒体にて紹介するとともにカタログギフトとして販売する。

ブランド : 「GLOBAL SPROUT」(グローバルスプラウト)

概 要 : 帰国隊員が生産する食品・雑貨・化粧品等のカタログギフト販売

7) 帰国隊員の進路支援

就職や転職、進学、結婚等、帰国隊員の様々なニーズに対して、彼らの経験や持ち味が活かせる人生プランをアドバイスするとともに進路開拓の支援を行う。

(1) 就職・進学等の支援

日 時 : 随時

概 要 : 就職・転職・進学等の進路相談

(2) 婚活イベントの開催

日 時 : 5月13日(土)
場 所 : 金時山(箱根)
概 要 : ハイキング
募 集 : 20名

8) 各種イベントへの参加

協力隊事業と育てる会活動の理解促進を目的に、各種イベントに参加し帰国隊員が生産する雑貨、「持続する情熱」等書籍の販売を行う。

(1) 協力隊まつり 2017

主 催 : 協力隊まつり実行委員会
日 時 : 4月23日(日)
場 所 : JICA 地球ひろば(市ヶ谷)
概 要 : 帰国隊員による特産品販売、「持続する情熱」等書籍の販売

(2) 第88回メーデー中央大会

主 催 : 第88回メーデー中央実行委員会
日 時 : 4月29日(土) 10:00~14:30
場 所 : 代々木公園
概 要 : 春募集広報、帰国隊員による特産品販売、「持続する情熱」等書籍の販売

(3) グローバルフェスタ 2016

主 催 : グローバルフェスタ実行委員会
日 時 : 9月30日(土) ~ 10月1日(日)
場 所 : 未定
概 要 : カレンダー、書籍、帰国隊員による特産品販売、「持続する情熱」等書籍の販売

(4) SEISA Asia Africa Bridge

主 催 : 公益財団法人世界こども財団
日 時 : 未定
場 所 : 星槎中学高等学校
概 要 : カレンダー、書籍、帰国隊員による特産品販売、「持続する情熱」等書籍の販売

【助成事業】

1) 小さなハートプロジェクト

協力隊員が本来の業務以外に企画するプロジェクトに対して支援金を募り、活動を支援する。プ

プロジェクト支援によって、途上国の人々の生活向上に寄与するだけでなく、協力隊を通して支援者と途上国の人々との繋がりを強め、国際協力に対する気運を高める。

支援金額：1 件につき上限 300,000 円

支援件数：8 件程度

募集期間：通年

審査：随時

2) 東日本大震災「小さなハート基金」

東日本大震災の復興支援活動をはじめ、その経験をもとに地域活性化等に取り組む帰国隊員の活動に対し支援を行う。

支援金額：1 件につき上限 300,000 円

支援件数：適宜

募集期間：通年

審査：随時

3) 帰国隊員／青年支援プロジェクト

公益財団法人三菱 UFJ 国際財団の支援を基に、帰国隊員の国際協力活動及び調査研究活動を支援する。

支援金額：1 件につき上限 500,000 円

支援総額：2,700,000 円

募集期間：7 月 1 日（土）～8 月 31 日（木）

審査選考：選考委員会にて秋頃実施

4) 馬場医療・福祉奨学金

医療・福祉分野への就学・就職を希望する帰国隊員を対象とし、返済義務を付した奨学金を給付し支援する。

支援金額：1 件につき上限 500,000 円

支援総額：1,000,000 円

募集期間：7 月 1 日（土）～8 月 31 日（木）

審査選考：帰国隊員／青年支援プロジェクトの審査選考と併せて実施

5) 新たな支援制度確立の準備

地方創生に取り組む帰国隊員への支援を中心した新制度の確立を目指し、制度概要の策定等の諸準備を進める。

制度内容：地方創生に関わる帰国隊員への支援

開始時期：2018 年～2019 年

6) 地域の育てる会活動助成

地域の育てる会が実施する協力隊事業の理解促進をはじめとする諸活動に対し、助成金を給付する。

支援金額：1 組織につき上限 80,000 円

給付時期：未定

対象事業：以下の 3 事業

①協力隊に参加し易く、その経験を地域に活かす社会環境整備活動

②協力隊事業の理解促進のための広報啓発活動

③「協力隊の応援団」を地域で増やす支援者拡充活動

【広報事業】

1) 「協力隊を育てる会ニュース」の発行

全国育てる会と会員、派遣中の協力隊員、帰国隊員、法人団体等の支援者とを結ぶ“育てる会活動の情報ツール”として、育てる会活動や帰国隊員の取り組み、協力隊事業の動向等を紹介する。

発行数：約 7,000 部／毎月

仕様：モノクロ／タブロイド版／4 ページ

構成：1 面～最新トピックス

2 面～全国育てる会や地域の支援者の活動紹介

3 面～派遣中隊員、帰国隊員向けの支援情報

4 面～各種インフォメーション

2) メールマガジンの発信

会員に対し、派遣中隊員の活動や帰国隊員の取り組み等、JICA や OB 会等から寄せられる各種情報を特典の一つとして毎月発信する。

発行：毎月 1 回

概要：派遣中隊員や帰国隊員、JICA 全体や OB 会等に関する各種情報

3) Web や SNS による情報提供

一般から隊員家族、派遣中隊員、帰国隊員まで、協力隊事業ならびに育てる会活動を広く周知するため、Web や SNS を活用した広報を更に充実させるとともに以下の情報等を発信する。

(1) 全国育てる会活動の最新トピックスや各種イベント情報（告知および報告等）の提供

(2) 帰国隊員が関わる事業や商品情報の提供

(3) 各種支援情報の提供

4) メーリングリストによる情報提供

帰国間もない隊員を中心に、育てる会活動を広く周知しネットワークを構築するため、以下の情報等を発信する。

(1) カレンダー写真の募集

(2) 帰国報告会の講師、「視察の旅」引率者の募集

(3) 各種支援事業の告知

(4) 各県組織からの情報提供

(5) 会員団体からの情報提供

5) 隊員活動の広報支援

関係団体の広報媒体と帰国隊員を繋ぎ、協力隊事業の理解促進を目的としたリポートを発信する。

(1) FEC NEWS

発行元 : 民間外交推進協会

発行 : 月1回

内容 : 帰国隊員による現地の活動や生活、参加を通じて得られたこと等についての寄稿

【受託事業】

1) JICA 受託事業

当会の独自性と長年培ってきたノウハウを活かし、効率的かつ効果的に業務遂行するとともに、契約更新・再受託に向けた諸準備を進める。

(1) 「クロスロード」誌編集・発行業務

委託元 : 独立行政法人国際協力機構

業務 : ボランティア向け実践ガイドの編集発行 (年 15 号/増刊 3 号含む)

契約 : 2015 年～2017 年 (3 年間)

(2) 「JICA ボランティア帰国情報/事務管理・現職参加促進支援」業務

委託元 : 独立行政法人国際協力機構

業務 : 各種証明書発行やデータ整備等の事務手続き、現職参加の促進・調査・相談等

契約 : 2015 年～2017 年 (3 年間)

(3) 「2016-2017 年度国際協カレポーター運営事務局業務」

委託元 : 独立行政法人国際協力機構

業務 : ODA の理解促進を目的とした学生・社会人の参加型モニター事業の運営

実施国 : ガーナ

契 約 ：2016 年～2017 年（2 年間）

2) 新規受託事業

各種研修事業のノウハウ、帰国隊員ならびに全国育てる会のネットワーク等、育てる会の専門性を活かせる業務の入札を適宜チャレンジし新規受託を目指す。

【総務活動】

1) 各種会議の運営

一般社団法人としての確かな組織運営ならびに事業活動の推進を目的として、役員会等の各種会議を開催する。

(1) 第 42 回通常総会

開催日 ：5 月 24 日（水）15：00～20：00

場 所 ：東京グリーンパレス

【プログラム】

第 1 部 通常総会（15：00～16：30）

第 2 部 講演会「日本と世界のかけ橋になる」（16：50～18：10）

①「病院で外国人の不安を無くすために」

講師：新垣智子氏

（2001-8／メキシコ／看護師、地方独立行政法人りんくう総合医療センター外来副看護師長 兼 国際診療科看護師）

②「JOCV にもらった翼」

講師：ジギャン・クマル・タパ氏

（公益財団法人かながわ国際交流財団職員、ネパール政府公式通訳者）

第 3 部 交流会（18：30～20：00）

(2) 理事会

年 3 回の開催（5 月、12 月、3 月）

(3) 常任理事会

原則として隔月開催

(4) タスクチーム

主要タスクに対応するため、役員によるタスクチームを組織し適宜対応する

(5) 顧問・参与会議

原則として年 2 回程度開催（6 月、12 月）

2) 各種交流会の開催

(1) 「新春の集い」

日 時 : 2018年1月

場 所 : 都内

(2) その他、各種表彰・叙勲等のお祝い会

日 時 : 適宜

場 所 : 都内

3) 公的資格の継続取得

(1) プライバシーマークの更新審査

時 期 : 今夏

4) 事務局移転の準備

現所在ビルの取り壊し計画に伴い、移転先の選定等の準備を進める。

5) 派遣隊員へのガイダンス

時 期 : 4月、7月、10月、1月

場 所 : 二本松訓練所、駒ヶ根訓練所

概 要 : 育てる会活動の説明ならびに個人情報の収集

6) 帰国隊員へのオリエンテーション

時 期 : 6月、9月、1月、3月

場 所 : 都内

概 要 : 育てる会活動の説明ならびにメールアドレス等の収集

以上

2017年度収支予算書

2017年4月1日から2018年3月31日(決算)まで

(単位:円)

	科 目	予算額	前年度予算額	増減	備考
	事業活動収入				
1	基本財産運用収入	2,500	5,000	△ 2,500	定期預金
2	入会金収入	20,000	100,000	△ 80,000	
3	会費収入	5,800,000	5,800,000	0	
4	研修会費収入	2,860,000	11,910,000	△ 9,050,000	庄内町ST減、視察の旅等
5	広告料収入	3,000,000	2,700,000	300,000	育てる会ニュース
6	手数料収入	9,080,000	5,328,000	3,752,000	会員発送代行、記念誌
7	カレンダー販売収入	5,000,000	6,000,000	△ 1,000,000	1万1千部
8	帰国隊員等支援受託収入	19,566,000	19,566,000	0	2015～2017年契約
9	クロス編集業務等受託収入	61,100,000	61,359,000	△ 259,000	"
10	クロス会員差込	632,400	744,000	△ 111,600	
11	その他受託収入	13,000,000	9,000,000	4,000,000	国際協力レポーター(ガーナ)
12	助成金収入	3,000,000	3,000,000	0	三菱UFJ国際財団
13	寄付金収入	2,800,000	2,800,000	0	小さなハート等
14	グローバルスプラウト	1,800,000	1,500,000	300,000	
15	雑収入	230,000	270,000	△ 40,000	
	経常収益合計	127,890,900	130,082,000	△ 2,191,100	
	事業活動支出				
16	給与手当	39,446,000	46,159,000	△ 6,713,000	職員2名減(計9名)
17	退職掛金	1,020,000	1,080,000	△ 60,000	
18	福利厚生費	6,026,000	6,865,000	△ 839,000	社会保険等
19	旅費交通費	8,431,000	10,305,000	△ 1,874,000	国際協力レポーター等
20	通信運搬費	9,178,900	5,917,000	3,261,900	レポーター、クロス発送費
21	会議費	1,155,000	1,985,000	△ 830,000	代表者会議隔年開催
22	修繕費	1,526,000	1,560,000	△ 34,000	コピー、PCメンテナンス
23	印刷製本費	18,625,000	18,535,000	90,000	クロス、カレンダー、レポーター等
24	賃借料	6,470,000	6,184,000	286,000	家賃、OA機器
25	光熱水費	600,000	600,000	0	
26	保険料	45,000	398,000	△ 353,000	火災保険
27	諸謝金	2,185,000	2,525,000	△ 340,000	クロス原稿等
28	消耗品費	450,000	350,000	100,000	
29	租税公課	4,805,000	4,883,000	△ 78,000	消費税
30	支払負担金	4,415,800	2,892,800	1,523,000	Pマーク、派遣、社労士、税理士等
31	支払助成金	8,100,000	8,400,000	△ 300,000	ハート、OB支援、各県助成、
32	委託費	8,863,000	8,121,200	741,800	クロスデザイン、レポーター等
33	雑費	6,549,200	3,322,000	3,227,200	レポーター、グローバルスプラウト等
	経常費用合計	127,890,900	130,082,000	△ 2,191,100	
	経常利益 事業活動収支差額	0	0	0	

一般社団法人 協力隊を育てる会

第 42 回通常総会

議案書

- | | |
|---------|----------------|
| 第 1 号議案 | 平成 28 年度決算承認の件 |
| | 公益目的支出計画実施報告書 |
| | 監事監査報告書 |
| 第 2 号議案 | 役員に関する件 |

日 時 : 2017 年 5 月 24 日 (水)

会 場 : 東京グリーンパレス

第 1 号議案 平成 28 年度決算承認の件

決 算 報 告 書

(第 4 期)

自 平成 28 年 4 月 1 日
至 平成 29 年 3 月 31 日

正味財産増減計算書

平成28年 4月 1日から平成29年 3月31日（決算）まで

法人名：一般社団法人協力隊を育てる会

事業名：事業全体

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
經常増減の部			
經常収益			
基本財産運用益	3,538	2,061	1,477
基本財産受取利息	3,538	2,061	1,477
受取入金会金	24,000	61,000	△37,000
受取入金会金	24,000	61,000	△37,000
受取会費	14,756,340	15,515,642	△759,302
正会員受取会費	5,210,416	5,333,464	△123,048
研修会受取会費	9,545,924	10,182,178	△636,254
事業収益	113,756,088	97,194,107	16,561,981
広告料収入	4,741,200	2,800,540	1,940,660
手数料収入	6,851,741	7,474,164	△622,423
カレンダー等販売収入	5,310,650	4,683,600	627,050
帰国隊員等支援受託収入	19,566,428	19,241,942	324,486
クロス編集業務受託収入	61,130,875	61,064,987	65,888
クロス差込収益	863,984	875,146	△11,162
GLOBAL SPROUT	1,915,786	0	1,915,786
その他受託収入	13,375,424	1,053,728	12,321,696
受取補助金等	3,000,000	3,000,000	0
受取民間助成金	3,000,000	3,000,000	0
受取寄付金	3,596,844	2,577,902	1,018,942
受取寄付金	3,596,844	2,577,902	1,018,942
雑収益	1,893,868	2,909,892	△1,016,024
受取利息	142	3,715	△3,573
雑収益	1,226,286	2,906,177	△1,679,891
受贈収益	667,440	0	667,440
經常収益計	137,030,678	121,260,604	15,770,074
經常費用			
事業費	125,531,140	118,243,331	7,287,809
給料手当	39,648,136	39,560,918	87,218
退職共済掛金	949,500	864,000	85,500
福利厚生費	6,013,270	6,760,650	△747,380
旅費交通費	12,908,065	10,156,231	2,751,834
通信費	8,068,374	6,381,152	1,687,222
会議費	733,055	1,406,701	△673,646
消耗品費	0	3,650	△3,650
修繕費	852,127	1,461,386	△609,259
印刷製本費	19,755,176	17,481,479	2,273,697
仕入高	2,216,916	0	2,216,916
光熱水料	305,413	329,402	△23,989
賃借料	2,630,323	2,655,553	△25,230
保険料	362,021	322,360	39,661
諸謝金	2,356,454	2,578,000	△221,546
租税公課	4,008,504	4,431,900	△423,396
支払負担金	8,640	3,000	5,640
支払助成金	8,627,177	9,312,798	△685,621
委託費	8,753,549	7,978,014	775,535
雑費	7,334,440	6,556,137	778,303
管理費	18,028,226	19,202,126	△1,173,900
給料手当	6,203,039	6,761,892	△558,853
退職共済掛金	225,500	216,000	9,500
福利厚生費	940,790	814,227	126,563
会議費	508,350	620,652	△112,302

正味財産増減計算書

平成28年 4月 1日から平成29年 3月31日（決算）まで

法人名：一般社団法人協力隊を育てる会

事業名：事業全体

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
旅 費 交 通 費	345,308	261,090	84,218
通 信 運 搬 費	670,436	716,672	△46,236
減 価 償 却 費	39,984	39,983	1
消 耗 品 費	441,715	403,537	38,178
修 繕 繕 費	610,747	431,442	179,305
印 刷 製 本 費	256,602	266,165	△9,563
光 熱 水 料 費	305,413	329,402	△23,989
賃 借 料	3,842,160	3,817,707	24,453
保 険 料	53,687	58,175	△4,488
租 税 公 課	76,000	14,000	62,000
支 払 負 担 金	2,849,526	3,538,744	△689,218
支 払 寄 付 金	30,000	0	30,000
雑 費	628,969	912,438	△283,469
経 常 費 用 計	143,559,366	137,445,457	6,113,909
評 価 損 益 等 調 整 前 当 期 経 常 増 減 額	△6,528,688	△16,184,853	9,656,165
評 価 損 益 等 計	0	0	0
当 期 経 常 増 減 額	△6,528,688	△16,184,853	9,656,165
経 常 外 増 減 の 部			
経 常 外 収 益			
経 常 外 収 益 計	0	0	0
経 常 外 費 用			
経 常 外 費 用 計	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0
税 引 前 当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	△6,528,688	△16,184,853	9,656,165
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	70,000	70,000	0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	△6,598,688	△16,254,853	9,656,165
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	57,746,469	74,001,322	△16,254,853
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	51,147,781	57,746,469	△6,598,688
Ⅱ 指 定 正 味 財 産 増 減 の 部			
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	0	0	0
Ⅲ 正 味 財 産 期 末 残 高	51,147,781	57,746,469	△6,598,688

貸 借 対 照 表

平成 29 年 3 月 31 日現在（決算）

法人名：一般社団法人協力隊を育てる会

事業名：事業全体

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
流 動 資 産			
現金預金	2,392,411	6,947,887	▲4,555,476
未収金	75,000	125,000	▲50,000
未収蔵品	27,578,356	24,580,064	2,998,292
貯蔵品	78,753	44,962	33,791
商 品	3,175,524	0	3,175,524
流動資産合計	33,300,044	31,697,913	1,602,131
固 定 資 産			
基本財産			
定期預金	20,000,000	20,000,000	0
基本財産合計	20,000,000	20,000,000	0
特定資産			
奨学貸付引当資産	5,167,948	5,612,948	▲445,000
特定資産合計	5,167,948	5,612,948	▲445,000
その他の固定資産			
建物附属設備	119,952	159,936	▲39,984
敷 金	806,000	806,000	0
奨 学 貸 付 金	2,832,052	2,387,052	445,000
その他の固定資産合計	3,758,004	3,352,988	405,016
固定資産合計	28,925,952	28,965,936	▲39,984
資 産 合 計	62,225,996	60,663,849	1,562,147
II 負 債 の 部			
流 動 負 債			
未払金	6,682,134	266,490	6,415,644
前払金	1,206,200	1,396,400	▲190,200
預り金	983,281	1,184,490	▲201,209
未払消費税等	2,136,600	0	2,136,600
未払法人税等	70,000	70,000	0
流動負債合計	11,078,215	2,917,380	8,160,835
負 債 合 計	11,078,215	2,917,380	8,160,835
III 正 味 財 産 の 部			
一 般 正 味 財 産	51,147,781	57,746,469	▲6,598,688
正 味 財 産 合 計	51,147,781	57,746,469	▲6,598,688
負債及び正味財産合計	62,225,996	60,663,849	1,562,147

財務諸表に対する注記

法人名：一般社団法人協力隊を育てる会
事業名：事業全体

1. 重要な会計方針

(1) 会計方針

「公益法人会計基準」（平成20年12月1日 内閣府公益認定等委員会）を採用している。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定率法によっている。

(4) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
定期預金	20,000,000	0	0	20,000,000
奨学貸付引当資産	5,612,948	0	445,000	5,167,948
合 計	25,612,948	0	445,000	25,167,948

3. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	367,500	247,548	119,952
合 計	367,500	247,548	119,952

附属明細書

法人名：一般社団法人協力隊を育てる会
事業名：事業全体

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	定期預金	20,000,000	0	0	20,000,000
特定資産	奨学貸付引当資産	5,612,948	0	445,000	5,167,948

公益目的支出計画実施報告書

【28年度（2016/4/1から2017/3/31まで）の概要】

1. 公益目的財産額	81,720,787円
2. 当該事業年度の公益目的収支差額（（1）＋（2）－（3））	44,694,972円
（1）前事業年度末日の公益目的収支差額	34,062,852円
（2）当該事業年度の公益目的支出の額	16,884,305円
（3）当該事業年度の実施事業収入の額	6,252,185円
3. 当該事業年度末日の公益目的財産残額	37,025,815円
4. 2の欄に記載した額が計画に記載した見込み額と異なる場合、その概要及び理由	

【公益目的支出計画の状況】

公益目的支出計画の	(1) 計画上の完了見込み	平成35年3月31日
完了予定事業年度の末日	(2) (1)より早まる見込みの場合	

	前事業年度		当該事業年度		翌事業年度
	計画	実績	計画	実績	計画
公益目的財産額	81,720,787円	81,720,787円	81,720,787円	81,720,787円	81,720,787円
公益目的収支差額	24,814,662円	34,062,852円	33,086,216円	44,694,972円	41,357,770円
公益目的支出の額	16,881,554円	18,017,497円	16,881,554円	16,884,305円	16,881,554円
実施事業収入の額	8,610,000円	6,062,102円	8,610,000円	6,252,185円	8,610,000円
公益目的財産残額	56,906,125円	47,657,935円	48,634,571円	37,025,815円	40,363,017円

平成29年4月28日

監査報告書

一般社団法人 協力隊を育てる会
代表理事 山本 保博 殿

監事

白 山 肇



監事

中 村 義 人



私たち監事は、第4期事業年度(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)の事業報告、計算書類(貸借対照表、正味財産増減計算書、個別注記表)、附属明細書、公益目的支出計画実施報告書、その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

監事間の協議により監査方針を定め、理事会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を閲覧、調査し、必要に応じて当法人の理事等から職務の執行状況等について報告を受け、また随時説明を求め監査を実施いたしました。

2 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しているものと認めます。
- (2) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 計算書類とその附属明細書は、当法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。
- (4) 公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い、当法人の公益目的支出計画の実施状況を正しく表示しているものと認めます。

以上

第 2 号議案 役員の補充に関する件

理事候補者（計 1 名）

1. 神崎 清一（かんざき せいいち）

公益財団法人日本 YMCA 同盟総主事（代表理事）

推薦理由

島田茂理事からの辞任申し出に伴い、上記のとおり候補者を推薦するものである。

※上記役員の任期は、2017 年 5 月 24 日から 2018 年 5 月開催予定の第 43 回通常総会日までとする。

一般社団法人協力隊を育てる会 2017年度体制（案）

役員

理 事	会 長	山本 保博	一般財団法人救急振興財団会長
理 事	副 会 長	山本 信也	一般財団法人日本青年館常務理事
理 事	副 会 長	水野 秀一	公益社団法人日本青年会議所事務局アドバイザー
理 事	常任理事	松岡 和久	公益財団法人CIESF副理事長
理 事	常任理事	奥永眞智子	前一般社団法人協力隊を育てる会事務局長
理 事		明石 要一	千葉大学名誉教授、千葉敬愛短期大学学長
理 事		岩田 公雄	ジャーナリスト、学習院大学特別客員教授
理 事		大貫 康雄	公益社団法人自由報道協会代表理事
理 事		澤田 澄子	公益社団法人企業メセナ協議会事務局長
理 事		重 政子	認定NPO法人持続可能な開発のための教育推進会議代表理事
理 事		神崎 清一	公益財団法人日本YMCA同盟総主事・代表理事
理 事		杉下 恒夫	一般財団法人国際開発機構理事長
理 事		土井 章	一般社団法人日本防災プラットフォーム事務局長
理 事		鳥澤 文彦	日本青年団協議会事務局長
理 事		山根木晴久	日本労働組合総連合会総合組織局総合局長
監 事		白山 肇	大東文化大学非常勤講師、富山県青年海外協力隊を育てる会会長
監 事		中村 義人	公認会計士、放送大学客員教授

顧問・参与

顧 問		黒河内 康	元タンザニア、ナイジェリア、スイス大使
顧 問		宮崎 幸雄	元公益財団法人ロータリー米山記念奨学会専務理事
顧 問		大島 賢三	一般社団法人アフリカ協会理事長
顧 問		足立 房夫	公益財団法人国際障害者年記念ナイスハート基金顧問
参 与		伊藤 隆文	元独立行政法人国際協力機構青年海外協力隊事務局長
参 与		大久保純夫	元一般社団法人協力隊を育てる会事務局長
参 与		小川 一成	茨城県青年海外協力隊を育てる会会長、茨城県議会議員
参 与		高橋 成雄	NPO法人地球緑化センター顧問
参 与		谷川与志雄	元独立行政法人国際協力機構青年海外協力隊事務局次長
参 与		吹浦 忠正	NPO法人ユーラシア21研究所理事長
参 与		森高 康行	愛媛県青年海外協力隊を育てる会理事、愛媛県議会議員
参 与		横尾賢一郎	公益財団法人ラグビーワールドカップ2019組織委員会上席執行役